

2025 年度 事業報告書

地域資源の価値循環と持続可能な組織体制の「結実」

NPO 法人 三段峡－太田川流域研究会

I、総括

1. 2025 年度の基本方針と成果

2025 年度、前年度の「旺盛」な挑戦と開拓のフェーズを経て、それらを組織の安定的な資産へと昇華させる「結実」の年として活動を展開いたしました。本年度の戦略的命題は、「事業の自立化」と「組織の継続性確立」を両輪とし、持続可能な NPO 経営モデルをめざしました。ビジターセンター「LOUPE」とエコツアー事業の成長に重点を置き、外部資金に依存しない財政基盤の構築を強力に推進いたしました。

新しい理念

さんけん設立 10 周年を迎え、新しい団体の理念を「三段峡の本質的な価値を調べ、伝え、次世代へつなげていく」と決めました。「次世代へつなげる」という考えが加わり、より若い世代へのアプローチが重要になりました。広大さんけん部、さんけん自然講師スタッフ、またその卒業生を含めた三段峡を担う次世代との関係構築を強化しています。

■ 戦略目標達成状況（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	計画目標	実績	達成度・評価
収益事業自立化（カフェ売上）	128 万円	178 万円	店舗の改修やメニューの見直しなど、地道な工夫が成果につながった。
名勝 100 周年記念講座	年 4 回開催	11 回	継続的な事業に加え、丸木位里などの特別展なども実施した。
ツアー事業売上	100 万円	55 万円	お盆期間の悪天候が影響したが、プロモーション戦略などがなかった。委託受け入れなどのツアー全体は 190 万
自然塾開催	年 4 回	4 回	来年度の講師の 2 名増加、2 名候補（6 年生）など中高生講師へのステップアップの仕組みが回り始めた

2. しらべる：三段峡野外博物館プロジェクト

【目的】三段峡憲章の理念の実現と三段峡の本質的な価値の向上に寄与する。調べ続けることで知見をいつでも活用できる状態を維持し、来訪者に三段峡の魅力を伝える。

最終アウトカム：三段峡や地域の資源の価値が向上を続けるループが構築される

今年度アウトプット：LOUPE およびカフェを持続可能な収益の柱とし、来館者数と売上を増加させる

「調べ続けること」は、私たちの活動の根幹であり、活動の基本です。本年度は、オオサンショウウオの調査、ヤマセミの巣箱と生息状況の調査、溪畔林の調査と自伐林業と協働した再生を実施しました。

■ 植物調査・トチノキ研究

- ・ 杵崎（つがさき）で発生したトチノキの倒木に対し、広島大学大学院（森林生態学・青柳仁士氏）による年輪調査を実施
- ・ 実測で 422 本の年輪を確認し、直径からの相関解析により樹齢 700 年に達する歴史的価値を科学的に立証
- ・ トチ林調査および溪畔林再生事業では、45%の発芽率（18 本成長）を記録した。

■ オオサンショウウオ・ヤマセミ調査

- ・ パタゴニア環境プログラムの支援を受け、年 10 回の生態調査を完遂。柴木ダム下流等での個体群動態を把握
- ・ サントリー愛鳥基金を活用したヤマセミ調査では、人工巣穴付近での「繁殖期待行動」を確認
- ・ 米国人研究者視察時、三段峡の個体の豊かさに高い評価を獲得

■ 評価

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
ビクターセンターの活用	三段峡にしかない土産物を開発する	売上 20 万円	オリジナル・ご当地ガチャなど、キノコとオオサンショウウオをテーマに商品が充実していった	292,000 円
植物調査	三段峡内の植物の調査（さんけん植物部・広大さんけん部と連携）	三段峡図鑑への掲載 写真データの蓄積	広島大学大学院（青柳仁士氏）と連携し杵崎トチノキの年輪調査を実施。実測 422 本の年輪から樹齢 700 年を科学的に立証。二谷トチ林では発芽率 45%（18 本成長）を記録し、原生林再生プロセスを定量化した。	図鑑への掲載はできなかった
オオサンショウウオ調査	パタゴニア環境プログラム支援のもと生態調査を実施	調査 10 回	年 10 回の生態調査を完遂し、柴木ダム下流等での個体群動態を把握。米国人研究者の視察時に「三段峡の個体の豊かさ」が高く評価された。	調査 10 回
ヤマセミ保全調査	サントリー愛鳥基金を活用したヤマセミ保全・人工巣穴の設置・モニタリング	さんけんヤマセミ部 活動月 1 回	改良型人工巣穴の設置とモニタリングを継続。つがいによる「繁殖期待行動」を確認し、保全活動が着実に生態系へ影響を与えていることを実証した。	月 1 回
情報発信	SNS を活用した三段峡の情報を発信する（FB・インスタグラム等）	日常的な情報発信	FB ページ・インスタグラム等を通じた日常的な情報発信を継続。三段峡図鑑専用ページも運用し、調査成果の可視化。	日常的に発信、後半は AI の活用・分業なども導入

3. しらべる：旧派溪谷の逆襲プロジェクト（名勝指定 100 周年事業）

【目的】2025 年名勝指定 100 周年を機に、「溪谷」の文化的価値を問い直し、今後の 100 年に向けた文化的ブランディングの基盤をつくる。

最終アウトカム：三段峡で南峰時代の文化が体験できる

今年度アウトカム：カフェの売上が 128 万円になる

2025 年の名勝指定 100 周年を目指し、三段峡の文化的側面の再ブランディングを実施した。

■ 記念事業と芸術的アプローチ

- ・ 計 11 回の記念講座を完遂。丸木位里の足跡を辿るツアーや水墨画体験会を開催（定員超の参加者を獲得）
- ・ 三段峡の造形美を「芸術的視点」から再解釈する機会となり、高付加価値な体験メニューとしての可能性を提示

■ 歴史調査

- ・ 写真資料を精査し、さんけん新聞にて「セピア写真帳」を連絡（2026 年 4 月号にて完結）
- ・ オーラルヒストリー「聞く会」を通じて収集された地域住民の記憶と合わせ、埋没していた文化文脈を可視化

■ 伝統の学術的昇華

- ・ 「枳餅」の製造工程を克明に記録し、全国トチノキ学ネットワークにて発表
- ・ 広島大学さんけん部員がアク抜き工程の実習・記録を実施

■ 評価

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
ビジターセンター活用（カフェ）	三段峡の名水を活かしたカフェを開設する	年間売上 128 万円	テイクアウト窓口を導入し、来訪者が利用しやすい環境を整備。 DIY での入口の改修にり、入りやすい雰囲気の向上	178 万円
枳餅の継承	枳餅の製造工程を記録し、全国トチノキ学ネットワークで発表する	全国トチノキ学ネットワークでの発表または参加	広島大学さんけん部員がアク抜き工程の実習・記録を実施。製造工程を克明に文書化し、地域文化を「生態系機能の活用事例」として学術的に位置づけた。	大崎理事が参加し、発表をした
名勝 100 周年事業	記念講座の開催・三段峡の来訪者数を記録する	講座の開催 4 回	丸木位里の足跡を辿るツアーや水墨画体験会は定員超の参加者を集め、三段峡の造形美を「芸術的視点」から再解釈する高付加価値体験メニューとしての可能性を提示した。	11 回
三段峡清掃	三段峡の整備や小径木を整備する	実施回数 4 回	渓谷内の環境整備と小径木の管理を計画通り実施。来訪者の安全確保と景観維持に貢献した。	4 回
聞く会	三段峡に関係するオーラルヒストリーや資料を収集する	実施回数 2 回	高丸商店店主へのヒアリングの実施	1 回

4. つたえる：さんけん自然塾プロジェクト

【目的】子供同士が学び合う自然塾の持続的な運営体制を構築する。学んだ子供が教える側に、教えた子供は地域の自

然を守るフィールドワーカーになることを目指す。

最終アウトカム：地域のフィールドワーカーが育成され、地域の環境を保全する活動が継続する

今年度アウトカム：次の世代の講師が成長し、世代交代が可能になる

持続可能な地域保全を重要な点を世代交代のシステム設計にとして。「学んだ子供が教える側に回る」仕組みの造成とし、本年度は、この人材育成の「循環構造」が顕著に機能し始めました。

■ ユースインタープリター制度

- ・ 受講生が教える側へと遷移するサイクルにより、プログラムの継続性を飛躍的に強化
- ・ さんけん自然塾講師の卒業と今後の関係性の構築の施策

■ 多層的な学校・地域連携

- ・ 未就学児対象の「自然遊び縁」を継続実施
- ・ 鶴学園（なぎさ中学校・小学校）との学校連携、大学生インターン受け入れ
- ・ 広島大学「さんけん部」に新入部員が加入し、アカデミックな後継層の厚みが確保

■ NTT ドコモ中国支社との業務提携

- ・ 生物多様性保全に関する業務提携を締結し、「三段峡 川の学校」を開催
- ・ 110 万円の助成を受け、リーダー育成事業に活用

■ 評価

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
さんけん自然塾	中高生が講師となる自然体験プログラムを提供する	実施回数 年 4 回	受講生が教える側へ遷移するサイクルが定着し、プログラムの成果が向上。	4 回
自然遊び縁	未就学児と家族を対象に自然体験イベントを提供する	実施回数 年 3 回	無印良品とのタイミングのずれなどがあった	1 回
地域の研究サポート	地域の自然科学の調査・研究を支援する	研究発表 1 回	トチノキ学会、安芸太田町林業フォーラムで発表した	2 回

5. つたえる：エコツーリズム推進プロジェクト

【目的】エコツーリズムの推進により、持続可能な地域観光の確立へ貢献する。

最終アウトカム：三段峡の自然資源が守られながら観光が両立した持続可能な観光が行われている

今年度アウトカム：ツアー事業が成長する仕組みができる

組織の経済的自立を担保するため、観光事業（DROPS）と拠点施設（LOUPE）を「稼ぐエンジン」として深化させました。

■ エコツアー（DROPS）の市場競争力

- ・ 広島県観光連盟「HYPP AWARD」優秀賞（自然・アクティビティ部門）を受賞
- ・ パタゴニア広島店が参画した溪流釣りモニターツアーを実施

- ・ 井上嵩裕隊員によるゴギ（イワナ亜種）の釣行記事が専門誌に掲載（広報効果）

■ LOUPE・カフェの収益モデル確立

- ・ 春シーズン前に DIY による大規模改装を実施（大型水槽撤去・テイクアウト窓口設置・暖簾台造作）
- ・ 四合地区の小笠原寛氏（あきおおたブルーベリーファーム）と連携し、マツダスタジアム「わがまち魅力発信隊」にてブルーベリーソーダ等を PR

■ 活動実績

※黄色のセルにご記入ください。

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
委託エコツアーの造成	委託を受けエコツアーを造成・実施する	ひろしま地球環境フォーラム 1 回 太田川流域振興交流会議 2 回	行政・関係機関からの委託事業として流域のエコツアーを造成・実施。地域全体の観光基盤を支えるパートナーとしての信頼を獲得し、継続的な委託関係の構築につなげた。 また NTT ドコモとの協業ツアーを新規で実施した	4 回
ツアープログラムの販売促進	新プログラム（三段峡欲張りコース・アドベンチャーコース・渓流釣りコース）の販売。インバウンド対応ツアーを販売する	SNS 発信 週 1 回 WEB サイトの改修 売上 100 万円	広島県観光連盟「HYPP AWARD」優秀賞（自然・アクティビティ部門）を受賞。	SNS の発信週 0.2 回 改修（インバウンド向け） 売り上げ 58 万円

6. つなげる：みんなでつくる流域社会プロジェクト

【目的】ファシリテーションを活用した地域マネジメントを実施し、地域内の協力関係と地域外との連携を強め、豊かな流域社会の実現へ貢献する。

最終アウトカム：さんけんがゲートウェイとなり、多様な主体が地域資源の活用を行う

今年度アウトカム：活動のパートナーが加わりやすい活動ができる

「流域社会のハブ（ゲートウェイ）」としての地位の確立

■ 広域ファシリテーションの展開

- ・ 「ひろしま自然史ネットワーク」の立ち上げに参画
- ・ 瀬戸内オリーブ基金 25 周年式典での事例発表を実施
- ・ 「あきおおたの楽しい 100 人」の開催を通じ、流域全体の環境保全と地域活性化をつなぐファシリテーターとしての役割を果たす
- ・ （株）大朝交通との三段峡の観光事業開発の連携

■ 評価

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
あきおおたの楽しい 100 人	地域の人のプレゼンテーションを聴く会を開催する	実施回数 6 回	地域住民によるプレゼンテーションを定期開催し、多様な主体が「語り・聴き合う場」を創出。地域内のネットワーク形成と相互理解の深化に寄与した。	6 回
環境パートナーひろしまへの参加	県内の環境団体が集まる組織での活動を実施する	理事会総会への参加 事業への参加 3 回	「ひろしま自然史ネットワーク」の立ち上げに参画し、瀬戸内オリーブ基金 25 周年式典での事例発表を実施。県内の環境保全コミュニティにおけるさんけんの存在感を高めた。	理事会総会参加 事業への参加 1 回
水源の森の再生	地域事業者と協力してトチを中心とした溪畔林の再生をする	種の採取 1 回 種まき 1 回 気温データログの設置	自伐型林業の作業地でトチの実の植え付けと生育調査を実施。気温データログを設置し、長期的な溪畔林再生のモニタリング体制を整備した。	種の採取 1 回 種まき 2 か所 ログ：3 か所設置
大学との連携	広大さんけん部の活動促進。広島修道大学・観音大学の学生ボランティア受け入れを継続する	広大さんけん部の活動 6 回	NTT ドコモ中国支社との業務提携（助成 110 万円）も実現し、多様な企業・大学との連携ネットワークを強化した。	さんけん部の活動

7. つなげる：さんけん 100 年化計画（組織基盤強化）

【目的】さんけんが次世代に引き継げる組織となるために、ブランド力と組織基盤を強化する。

最終アウトカム：次世代に渡せる組織になる

今年度アウトカム：さんけんへの活動の訴求力が増す

■ 組織 100 年化計画

- ・ 2026 年 7 月の設立 10 周年に向け、理事会にて理念の再定義を実施
- ・ 「三段峡の本質的な価値を調べ、伝え、次世代へつなげていく」という使命を再確認
- ・ AI 活用勉強会を実施し、SNS 投稿・助成金申請等への導入を開始

■ 活動実績

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
さんけん新聞	毎月 1 回の会報を発行する	発行回数 12 回	年 12 回の発行を継続し、会員や地域住民への活動共有と透明性を維持。	12 回
研修への参加	組織基盤強化のための研修に参加する	参加回数 2 回	組織運営・NPO マネジメントに関する研修を内部で実施。スタッフがそれぞれ講師になり学びあった。	8 回
さんけん PR	活動を広め、支援者の獲得をする	サイトの再構築 支援募集アイテムの作成	AI 活用勉強会を実施し、SNS 投稿・助成金申請等への AI 導入を開始。事務作業の効率化と情報発信の精度向上を図り、支援獲得スキームを強化した。	サイトマップ・文章案まで
企業版ふ	安芸太田町が実施す	1 社	安芸太田町の企業版ふるさと納税スキ	0 社

活動	概要	目標（アウトプット）	総括・成果のポイント	実績
ふるさと納税活用	ふるさと企業版ふるさと納税にエントリーする		チームへエントリーし、新たな財源確保の仕組み構築に着手した。外部資金への依存度低減に向けた自立的財政基盤の強化につなげる。	

8. まとめ：持続可能な 100 年に向けた新たな出発

2024 年度「旺盛」 → 2025 年度「結実」 → 次の 100 年

2025 年度は、組織の安定的な骨格へと定着させた「結実」の年となりました。私たちが構築したのは、単なる活動実績ではなく、三段峡という「地域資源」を「調査（しらべる）」「定義（つたえる）」「収益化（つなげる）」という一連の「価値循環ループ」だと考えています。このサイクルの回転が成長していきたいと思います。

「次世代へつなぐ」新しい目標を加え、私たちは次なる 100 年に向け、豊かで持続可能な三段峡を次世代へ継承し続けます。

NPO 法人 三段峡－太田川流域研究会

II、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業



事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額	備考
1. 環境保全事業	101「環境保全」 生態系の保全のための活動を実施した	9/4 4/24, 6/30, 9/20 10/8, 10/18 11/8, 11/18 6/27	安芸太田町 知頭町 三段峡	7人	太田川流域住民 636人	2,045,096	谷にトチを植え生態系保全 トチの木ネットワークなど
	102「環境調査」 生態系の保全のためのモニタリングを実施した ヤマセミ オオサンショウウオ アマゴ 希少チョウなど	4/21 4/25 5/12 5/20, 6/27, 7/4 6/17, 7/15 9/2, 9/16, 9/24 10/3, 21 11/4, 7, 18, 26 12/11, 16 1/9, 20, 28 2/6, 19 5/27 6/6, 12/15 5/30, 6/16, 9/1 6/9 6/30-7/1 8/25 9/22 9/27 12/5 12~2月 1~3月 8/13	サントリーホール 安芸太田町内 小学校 安芸太田町図書館 安芸太田町内 山口県キララ浜 深入山 LOUPE				mtg 製作 見学も含む 自作の紙芝居読み語り mtg 作業 名勝指定記念事業8弾
	103「環境整備」 生態系や景観保全のための補助路を整備した	4/20 6/14, 21 10/4, 11 10/19 10/27 3/26 10/2, 11/5, 6	三段峡				雨天時はLOUPE清掃へ 名勝指定記念事業9弾 さんけん流川部 主催同業
	201「歴史・文化」 三段峡の歴史や文化の研究をした	5/27	三段峡				高丸さん
	202「植物」 三段峡・太田川上流の植物研究をした	4/5 12/19	三段峡 広島市				常緑樹の見分け方
2. 研究事業	203「動物」 三段峡・太田川上流の動物研究をした	7/12, 8/18 8/28, 9/6, 20 2/11, 2/25, 3/11 10/18-10/19 7/2	三段峡 赤目	5人	太田川流域住民 73人	691,483	参加

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額	備考
3. 観光事業	301「インターブ リテーション」 さんけんツアーの開 発やガイド育成を実 施した	7/21 10/2 7/4 1/17	三段峡 戸河内道の駅 各小学校へ 安芸太田町	11人	太田川流 域住民 4700人	3,841,465	
	302「イベント・ ツアー企画運営」 さんけんツアーやツ アー造成に取り組ん だ	4/30, 5/1, 4 7/19, 20, 21, 22, 28 8/3, 15, 16, 8/17, 18, 21 8/24, 25, 9/14, 29 11/5, 7 4/22, 6/17 5/28	三段峡				パタゴニアスタッフ 踏破下見
	303「ビジターセ ンター」 ①ビジターセン ター開館・運営を した	4/5~9/30 10/1~11/30 (水木休) 6/22, 12/6, 12/7 10/4, 12/1 4/2, 16, 5/7 6/4, 18 7/2, 16, 8/6, 20 9/3, 17 10/1, 15, 11/5, 19 12/17, 1/7, 21 2/4, 18, 3/4, 18 4/17, 5/15, 6/19 7/17, 9/18, 10/23 10/16, 11/20 12/18 1/15, 2/19, 3/19 4/16, 6/5 5/31 9/8~ 10月~ 5/16, 9/30	LOUPE 安芸太田町内 生口島 九州印刷店				10/23はトチノキ調査 1月2月3月は加計印刷 mtg 視察 キノコキーホルダー キーホルダー販売
	②ビジターセン ター展示の素材を 収集した	4/5~ 5/1~ 7/1~ 9/15~ 11/1~ 4/2, 12/1, 2, 3/4, 5, 15	LOUPE				名勝指定記念事業5弾
4. 地域づくり 事業	401「ファシリ テーション事業」 「FMC/みんなでま るく向上委員会」 の運営をし、地域活 性化を話し合いを した	4/17, 5/27 7/15, 18 7/23, 28 8/6, 22, 28 11/26, 2/5, 23 3/2, 6, 11 4/1, 6/1, 8/1 11/4, 2/5	安芸太田町内 役場				
	402「事務局委 託」 さんけんの目的に沿 うプロジェクトの依 頼を受託し実施した	4/19 6/21 8/31 11/29 3/14	戸河内交流センター 社会福祉協議会 黎明館 LOUPE				名勝指定記念事業10弾

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額	備考
	403「会議に参加」 地域の会議に参加した	6/20 1/8 7/2 1/27 3/27	EP0中国 土井田屋 安芸太田町 LOUPE	16人	安芸太田町民から 広島県民など 2196人	1,711,682	理事会 mtg mtg
	404「地域連携」 地域内や都市と中山間地域の連携を促進した	4/5 6/17, /7/2, 10, 29 9/4, 10/11, 14 11/18, 2/5 10/1~11/30 平日 8/2 1/16 8/19 8/21, 9/19 9/20~ 12/18 4/13, 26 6/7, 8/30 7/19 4/27, 7/26-27, 9/21 12/21 12/10, 23, 1/18 3/20 7/16 5/27 7/8 12/1 11/5 8/29 7/14, 29, 8/19 9/10, 13 9/14 7/14 5/10, 7/12 5/27 7/18 11/19 7/22 9/14 10/11 11/20 10/24, 12/9 1/17 10/15 4/1~3/31 週4 4/12, 5/9, 8/5, 9/5 10/10, 11/7, 12/5, 1/ 19, 2/12 4/11, 11/7 5/26, 9/5, 10/22 6/23 11/8, 3/19 11/10, 3/17 4/12	三段峡 LOUPE 安芸太田町 安芸太田町役場 広島市 戸河内ストアー マツダスタジアム 文教大学 広島県庁 北広島町 あさ動物園 大野				インバウンドツアー ツアー LOUPE見学 mtg 展示 社員研修 三段峡歩く けん部発表 自然塾などスタッフ 自然塾などスタッフ 榎餅作り 釣りツアー mtg 中学1年生来館 受け入れ mtg, 下見, 準備 名勝指定記念事業7弾 登録・実施 人材育成 人材育成 ドイツの環境配慮 協力隊会議
							三原市協力隊来峡 発表会, 卒業式 外来種捕獲

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額	備考
5. 人材育成事業	501「教育プログラム開発」	4/27 7/26-27 9/21 12/21 自然体験学習・環境教育・ふる里学習のプログラムを開発した 4/20 7/19 9/15 12/14 7/25, 9/10, 12/10 2/22 7/21 5/2, 7/20 10/22, 28 2/10	三段峡 青少年センター	6人	広島県民 616人	4,607,361	
	502「安芸太田町教育機関等を対象とした教育プログラム実施」	9/9 9/1, 10/15	三段峡				川の安全講習
	503「広島市内を中心とした教育機関等を対象とした教育プログラムの実施」	5/21 7/2 8/23 5/21 7/29 7/30, 31 8/21 7/24, 8/18 9/15-16 9/19-21 3/4~17 2/10 7/21, 10/17					mtgと報告精算 志屋小学校 芸北小学校 名勝指定記念事業6弾 mtg mtg 小中体験 体験、通信科
	504「研修への参加」	10/18-10/19 12/10 組織強化および目的達成のための技能習得の為の研修を行なった 12/1, 15, 23, 25 1/5, 8, 15, 19 2/3, 9, 24 3/3 2/13 2/26 3/29					赤目 LOUPE 伊那
							学びの会

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額	備考
6. 情報発信及び出版事業	601「さんけん情報発信」 さんけん新聞・HPで情報発信した	月10日発行 9/13	LOUPE	8人	広島県民など 39696人	171,523	さんけん新聞 引き継ぎmtg アニュアルレポート facebook インスタ X LINE
		8/10発行 週4 週4 4/1~11 月1	事務所など				
		4/14, 28, 5/12, 5/23, 6/13 7/7, 18, 25 8/8, 9/8	LOUPE				さんけんmtg 取材
		10/14, 11/4, 28 8/2, 9/2, 9/29 11/9	読売新聞				取材 丸ごと好奇心知っとる 取材
		4/22, 5/2, 5/6 5/16	広島テレビ				地球派宣言
		8/23 9/10 11/12 1/12	ホームテレビ				取材 お好みワイド 打ち合わせ、放送 4/7
		10/29 10/30 3/24	NHK				
		6/1 9/1 12/1 3/1	RCC				
			grante				
		4/3, 5/1 6/5, 7/3 8/7, 9/4 10/2, 11/6 12/4, 1/8 2/5, 3/5	安芸太田町加計				あきおた ラジオ
7. 友の会運営事業	602「三段峡情報発信」 SNSなどを活用して 情報を発信した	週3回 週3回 随時	事務所など				facebook インスタ youtube
	701「会員管理」 会員へ活動を報告・予告した	月1回 12/26 5/25	mail 郵送 三段峡	4人	広島県民など 1113人	73,869	
	703「会員募集」 運用やさんけんの入 会案内、会員獲得イ ベントなどを実施した	12/9	三段峡				名勝指定記念事業11弾 「森の世代交代について学 ぶ会」講演会
	703「寄附獲得」 寄附獲得のための事 業を実施した	随時	LOUPE				
8. エネルギー事業	今年度実施予定なし			0人	0人	0	